

令和4年第1回市議会定例会の開会に当り、私の市政運営に対する主な考えを申し述べ、予算の提案説明とさせていただきます。市議会議員の皆様並びに市民の皆様には、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、度重なる緊急事態宣言が発令されるなど、市政運営はもとより国内においても大変厳しい状況におかれた1年となりました。そのような中、多くの皆様にご協力いただいた2回のワクチン接種や徹底した感染対策などにより、いったんは感染者数が落ち着いた状況が続きました。

しかしながら、新たな変異株による更なる感染拡大が起こるなど、いまだ先行きは見通せず、市民生活や市内経済には大きな影響が及んでおり、回復にはまだしばらく時間がかかるものと認識しております。このような状況から、令和3年度は7度にわたり補正予算を編成し、総額100億円を超える施策を展開してまいりましたが、今後も、引き続き感染状況や経済情勢を見極め、迅速かつ適切な施策が求められています。

一方、東京^{ニイゼロニイゼロ}2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、大会史上初となる延期を経て、そして、多くの会場で無観客となるなど異例づくめの中、開催されました。本市では、ホストタウンとしてこれまで培ってきたオーストラリア代表とオーストラリア代表との交流をはじめ、自転車競技ロードレースにおいて、市内を通過した映像が世界に配信されるなど、世界とのつながりが確実に広がった年であったと感じています。

今後は、これらの貴重な経験を、大切なレガシーとしてしっかりと次世代に引き継いでいくことが重要であるものと認識しています。

このような中、令和4年度はこれから皆様にご審議いただく第7次府中市総合計画がスタートいたします。本計画では、これまでの実績をしっかりと引き継ぐとともに、今後の市の将来を見据え、市政のあらゆる分野において、総合的かつ計画的なまちづくりを展開してまいります。

そして、本計画のスタートを着実なものとするため、3つのテーマとして「地域でつながる」、「未来へ育む」、「活力を創る」を掲げました。

1つ目の「地域でつながる」につきましては、長引くコロナ禍において、今こそ、まちづくりの原点である地域の絆を協働の力で紡ぎ、新たな社会を見据えた施策の展開が必要であると捉えています。それには、市民の健康維持と市内経済の回復、自然災害への対策などが重要です。文化センター圏域を意識した地域のつながりでは、より多くの絆と協働により、地域福祉の拡充や防災力の充実を図ってまいります。

2つ目の「未来へ育む」につきましては、本市の大きな使命の一つである子育て施策の充実では、次世代を担う子どもたちの未来を育むために、子育て世代包括支援センターの移転による利便性とサービスの向上のほか、児童発達支援センターの完成に向けた準備を行うなど、一層の子育て環境の拡充に取り組んでまいります。また、昨年市内の大学や企業と連携協定を締結したゼロカーボンシティへの取組も重要と捉えており、産学官が連携した、新時代を育むための新たな施策を検討してまいります。

3つ目の「活力を創る」につきましては、活力には、まず健康であることが大切です。市民の皆様が健康長寿を目指して、元気に過ごすことができるまちづくりを実現し、更なる活力を生み、愛着と笑顔あふれる地域を

目指してまいります。また、市内経済では、中心市街地の活性化が大きな課題であると捉えております。昨年はコロナ禍ではありましたが、府中駅南口に新たな大型商業施設が開業しました。ここに、本市ならではの息を吹き込み、魅力を発信し、そしてまちの活力を創るという大事な一年であると捉えております。

以上、ここに掲げました3つのテーマと第7次府中市総合計画に基づき、市政をさらに前進させ、持続可能なまちづくりの実現に向け全力を尽くしてまいります。

さて、本市の財政状況でございますが、令和4年度の市税は、総額約500億円で、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減収を見込んでいた前年度と比較して約24億円の増収を見込むとともに、競走事業からの収益事業収入については、電話投票などによる堅調な売上げにより、前年度と比較して約8億円の増収を見込んでおります。

一方、歳出においては、社会保障関係経費が依然として伸び続けているほか、新型コロナウイルス感染症対策の継続、まちのにぎわいや防災・減災、子育て支援、教育環境の充実など、時代の要請に応じた施策が求められております。さらには、学校施設の改築をはじめ、老朽化する公共施設に対する適切な維持管理等の継続的な対応も必要となっており、将来的に見込まれる財政負担に対して、基金と起債を効果的に活用しながら、計画的に対応していく必要があります。

このような中、各施策事業の見直しを進めるなど、より一層の効率化を

図りつつ、令和4年度は、数多くの新規・レベルアップ事業を予算計上しております。

この結果、一般会計の予算額は、1,209億4,000万円で、令和3年度と比較いたしまして、112億3,000万円、10.2%の増となっております。

また、特別会計・公営企業会計を含めた予算総額は、2,688億2,720万8,000円で、令和3年度と比較いたしまして、202億1,876万7,000円、8.1%の増となっております。

それでは、令和4年度の市政運営につきまして、第7次府中市総合計画の4つの柱に沿いまして、主な事業をご説明申し上げます。

はじめに、第1の柱は、「人と人との支え合い 誰もが幸せを感じるまち」でございます。

健康づくりの推進につきましては、元気いっぱいサポーターの養成など市民や団体、企業との協働による取組を通じて、地域ぐるみで推進してまいります。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策については、円滑なワクチン接種の実施や自宅療養者支援等、東京都や医師会など関係機関と連携して取り組んでまいります。

各種健診事業等では、引き続き、感染防止対策を徹底し、実施してまいります。

地域における子育て支援につきましては、子育てひろばや子ども食堂等、

身近な場所で気軽に相談や交流ができる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。

妊娠期から子育て期までの継続的な支援につきましては、令和4年7月に、移転統合を行う子育て世代包括支援センターを府中駅前商業施設内に開設します。また、安心して子どもを生み育てられるよう、母子の健康相談などについて、SNSを利用したいつでも相談できる環境を整えてまいります。

ひとり親家庭への支援につきましては、ひとり親家庭の生活の安定を図るため、新たに養育費の取り決めに関する公正証書の作成費用の一部補助を開始するなど、自立に向けた支援の充実を図ってまいります。

教育・保育サービスの充実につきましては、既存施設の有効活用や保育コンシェルジュによるきめ細かな情報提供など、総合的に対策を進めてまいります。公立基幹保育所では、計画的に進めている残り2か所の整備に向け、具体的な取組を進めてまいります。

高齢者サービスの充実につきましては、高齢者の自立支援と要支援・要介護状態の重度化の防止を推進するため、専門職が集中的に関わる予防事業を充実させるとともに、認知症対策では、介護事業所の質を高めるため、新たに、対応が難しい認知症ケアを向上させるプログラムに取り組んでまいります。

障害者サービスの充実につきましては、住み慣れた地域で暮らすことができるよう、地域の包括的な支援体制の構築や、障害者差別等の解消に向けた取組の検討のほか、次期障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に取り組んでまいります。また、令和6年4月の供用開始に向け、児童発達支援センターの建築工事に着手してまいります。

国民健康保険の運営につきましては、ショートメール機能の活用や、F C 東京との協働による特定健康診査等の更なる受診啓発を図るとともに、引き続き保険給付事業や医療費適正化事業等を着実に実施し、健全な事業運営に努めてまいります。

介護保険制度の円滑な運営につきましては、引き続き地域包括ケアシステムの推進を図りながら、適正な運営に努めてまいります。また、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に取り組んでまいります。

低所得者の自立支援につきましては、複合的な課題を抱えた市民からの相談に対応するため、新たに福祉の総合相談窓口を設置し、関係機関と連携しながら、包括的な相談支援体制を充実してまいります。

住宅セーフティネット制度の推進につきましては、住宅確保要配慮者の住まい相談窓口を一本化し、住まいと福祉の問題を一体的に相談できる体制を構築してまいります。

つながり支え合う地域づくりにつきましては、各福祉エリアで活動する地域福祉コーディネーターを統括する担当を新たに配置し、市民や自主グループなどの各種団体との協働・連携のもと、地域における支え合いの力が高められるように取り組んでまいります。

福祉のまちづくり環境整備につきましては、移動等円滑化促進方針の策定、及びバリアフリー基本構想の改定に取り組んでまいります。

第2の柱は、「緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち」でございます。

公園緑地等の活用促進につきましては、誰もが快適に利用できるよう公園の適切な維持管理を行うとともに、指定管理者制度の導入に向け、市民や事業者など様々な主体との協働による管理運営の取組を展開してまいります。

生活環境の保全・向上につきましては、再生可能エネルギーの導入の可能性について調査するほか、家庭における太陽光発電設備などの設置の支援を拡充するなど、昨年11月に表明した「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めてまいります。

また、空き家全戸調査を実施することにより、新たに策定した第2次空家等対策計画の実効性を高め、良好な生活環境の確保に努めてまいります。

循環型社会形成の推進につきましては、たい肥化容器の購入に係る補助

率を時限的に引き上げるとともに、資源物の回収頻度を拡充するなど、市民、事業者、行政の3者で協働し、社会変容による排出状況の変化に応じたごみの適正処理及び更なる資源循環を図ってまいります。また、リサイクルプラザの整備に向けて、新施設の基本設計を進めてまいります。

交通安全の推進につきましては、引き続き、交通安全意識の普及啓発や、自転車ナビマーク等の安全施設の整備に取り組むなど、交通事故のない社会の実現に努めてまいります。また、新たに交通安全計画の策定に取り組んでまいります。

地域安全の推進につきましては、自主防犯組織への活動支援や防犯教育の充実などに取り組むとともに、特殊詐欺被害防止に向けて、引き続き啓発活動に取り組んでまいります。

危機管理対策の強化につきましては、各自主防災連絡会において、自治会等の取組を支援し、地域防災力の向上に努めてまいります。また、近年の大規模災害の教訓を踏まえ、改訂版の水害ハザードマップを全戸配布するほか、災害時受援応援計画を策定し、その実行性を確保するマニュアルを作成するなど、大規模災害への備えに努めてまいります。

消防力の充実につきましては、地域防災センターの外壁等の改修などの老朽化対策に取り組むとともに、府中消防署及び消防団との更なる連携強化を図り、引き続き、消防・防災力の向上を目指してまいります。

震災に対応した建築物等の誘導につきましては、引き続き建築物やブロック塀等の耐震化を推進してまいります。

第3の柱は、「多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち」でございます。

互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進につきましては、人権や平和の啓発、男女共同参画の推進等、一人ひとりが大切にされ、生き生きと暮らせる多様性社会の実現に向け、新たな組織を立ち上げて各種講座や啓発事業を実施してまいります。

都市間交流の促進につきましては、長野県佐久穂町との交流事業を推進するほか、ウィーン市ヘルナルス区との友好都市盟約30周年を記念した様々な事業を実施してまいります。また、東京^{ニイゼロニイゼロ}2020大会のレガシーとして、ホストタウン交流事業を行ってまいります。

地域コミュニティの活性化支援につきましては、自治会掲示板整備への助成や回覧板の電子化を進めるとともに、コミュニティ協議会等との連携強化を図りながら各種施策を展開するほか、文化センターの今後の在り方について検討を進めてまいります。

生涯にわたる学習活動の推進につきましては、市民の知識・経験・技術を地域へ還元する「学び返し」を基盤とした、地域の教育力と市民協働力の向上に努めてまいります。

ルミエール府中につきましては、令和4年10月から休館を伴う改修を行い、令和5年3月からの供用再開に向けて準備を進めてまいります。

歴史文化遺産の保存と活用につきましては、文化財である市内古民家の基礎調査や、武蔵国府跡の第二期整備に向けた取組などを進めてまいります。市史編さんでは、資料編に続き、通史編の編集・発行に取り組みます。

スポーツ活動の支援につきましては、「スポーツタウン府中」の更なる発展に向け、新たに策定した第2次スポーツ推進計画に基づき、市内トップチームとの連携事業をはじめ、各種施策の展開を図ってまいります。また、東京^{ニイゼロニイゼロ}2020大会等のレガシーとして、ラグビーのまち府中の更なる推進やパラスポーツの普及・発展に取り組んでまいります。

学校教育の充実につきましては、新たに策定した第3次学校教育プランに基づき、変わりゆく社会情勢に的確に対応しつつ、保護者や学校・地域・関係機関等と連携・協力し、一体となって子どもを育成してまいります。

社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成に向けては、ICTの活用などにより、教育内容の充実を図るとともに、児童・生徒一人ひとりが特性に応じた適切な教育を受けられるよう特別支援教育を推進してまいります。

学びの機会を保障するための支援の充実に向けては、相談体制を拡充す

るとともに、関係機関とも連携しながら、きめ細かい支援を実施してまいります。また、不登校対策につきましては、不登校特例校の設置を含む対策を総合的に推進してまいります。

子どもの学びを支える教育環境の充実に向けては、学校施設の老朽化対策の取組を着実に進めるとともに、引き続き、小学校及び中学校のトイレ改修を実施してまいります。また、学校給食につきましては、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供に努めてまいります。

青少年の健全育成につきましては、学童クラブにおける適正な育成スペースの確保を図るほか、青少年の適切なインターネット利用に係る啓発事業などの取組を進めてまいります。

第4の柱は、「魅力あふれる うるおいと活力のあるまち」でございます。

計画的な土地利用の推進につきましては、都市計画マスタープランで示す将来都市像の実現のため、用途地域等の一括変更を進めるとともに、木造住宅密集地域の課題解決に向け、地区計画の策定のための地域のまちづくり活動を引き続き支援してまいります。

魅力ある景観の保全・形成につきましては、景観計画を改定するとともに、景観ガイドラインの見直しを進めてまいります。また、統一感のある分かりやすい公共サインの整備に向けた取組を進めてまいります。

公共交通の利便性の向上につきましては、市民の誰もが円滑に利用できる公共交通機能の維持・充実を目指し、公共交通ネットワークに関わる地域公共交通計画の策定に取り組んでまいります。

市内の拠点におけるまちづくりの推進につきましては、分倍河原駅周辺地区では、地域住民の方や鉄道事業者をはじめとした関係者との協働により、まちづくり基本計画に掲げる施策を着実に実施してまいります。

また、府中基地跡地留保地では、長年課題であった米軍通信施設の返還が実現したことから、当該地を活用する場合の影響等を検証し、今後の利用について検討を進めてまいります。

中心市街地の活性化に向けたまちづくりの推進につきましては、府中駅周辺地域のエリアマネジメントを担う、まちづくり府中を支援することで、中心市街地のにぎわいを創出するとともに、関係団体及び事業者等と協働して様々な活性化策に取り組んでまいります。

安全で持続可能な道路機能の保全・整備につきましては、都市計画道路事業のほか、橋りょう補修事業などの施設の老朽化対策を計画的に推進するとともに、引き続き道路等包括管理事業を実施してまいります。また、狭あい道路につきましては、早期の解消に向け、狭あい道路の拡幅に関する条例に基づき、積極的に推進してまいります。

下水道施設の機能確保につきましては、下水道財政の健全性を維持する

とともに、引き続き施設の老朽化対策や地震対策などを計画的に進めてまいります。

中小企業の経営基盤強化の支援につきましては、府中市勤労者福祉振興公社による、勤労者の福利厚生及び高年齢者の就労支援に努めてまいります。

地域商業の振興につきましては、新たに策定した商店街振興プランに基づき、にぎわいと魅力ある商店街づくりを進めるため、空き店舗活用事業等を実施するほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者へは、引き続き必要な支援を行ってまいります。

観光資源の活用・創出による地域活性化につきましては、新たに策定した観光振興プランに基づき、東京^{ニイゼロニイゼロ}2020大会等のレガシーとして、観光コンテンツを開発するなど、市民がホスト・ゲストとして楽しめる、未来につながる観光まちづくりに取り組んでまいります。

消費生活の向上につきましては、悪質商法の被害、消費生活に係るトラブルを未然に防ぐための啓発活動や、エシカル消費の啓発活動に取り組んでまいります。

都市農業の育成につきましては、新たに策定した第4次農業振興計画に基づき、引き続き農地の保全と農業の担い手の確保等に努めるとともに、

西府町農業公園を活用し、市民が農業と触れ合う機会の充実に努めてまいります。

以上、第7次府中市総合計画の4本の柱に沿って説明してまいりました。

次に、総合計画を推進するに当たり、行財政運営上、取り組むべき課題等について、いくつか触れさせていただきます。

市民参加と協働によるまちづくりにつきましては、行政、市民が抱える課題を的確に捉え、市民活動センター「プラッツ」の機能を活用しながら、市民との協働・共創により課題解決に結びつける取組を行ってまいります。

また、東京^{ニイゼロニイゼロ}2020大会等のレガシーとして、市民ボランティアの育成・支援を行い、更なる市民協働の推進を図ってまいります。

多様な媒体を活用した市政情報の発信では、電子媒体を活用した情報発信の充実を図るため、市ホームページについて、SNSとの連携や検索性の向上など、令和5年度中のリニューアルに向けて取組を進めてまいります。

窓口サービスにつきましては、キオスク端末の導入や、マイナンバーカードの申請手続の支援を行う臨時窓口を公共施設や民間商業施設等に設置するなど、市民サービスの向上を図ります。

公正で効率的な入札事務の執行につきましては、入札等監視委員会に諮

りながら契約制度の「透明性・公正性・競争性」の確保を図るほか、引き続き、公契約の在り方について検討を進めてまいります。また、弁護士資格を保有する人材の登用も予定するなど、職員に対するコンプライアンスの更なる徹底を図ってまいります。

デジタル化の推進と情報セキュリティの強化につきましては、新庁舎建設を契機に、新たな庁内ネットワークの構築やデジタル技術の導入などによりデジタルトランスフォーメーションに取り組むとともに、情報セキュリティ対策を推進してまいります。

長期的視点に立った公共資産の維持・活用につきましては、次世代に適切な規模及び機能の公共施設を引き継いでいくため、最適化と計画的保全に取り組んでまいります。特に、文化・スポーツ施設は建て替えや改修の時期を見据え、今後の在り方に係る検討を進めてまいります。

本町保育所移転・新設・跡地活用では、選定委員会を設置し公民連携事業の事業者の選定を進めてまいります。

市庁舎建設事業の着実な遂行につきましては、新庁舎建設工事の工期や品質、安全等を確保するため、引き続き工事監理を徹底していくとともに、令和5年5月のおもやの供用開始に向け、庁舎機能の移転などに係る業務を着実に進めてまいります。

市税につきましては、公平かつ適正な課税に努めるほか、納税者の個々の状況に応じた対応を図りつつ、収納率の更なる向上に取り組んでまいります。

以上、令和4年度の市政の運営につきまして、所信の一端を申し述べました。

昨年は、引き続き、新型コロナウイルスに翻弄され、常に不安の中での生活を強いられた年となりましたが、ボランティアをはじめ様々な方々との協働により開催された東京^{ニイゼロニイゼロ}2020大会は、私たちに多くの夢や希望を与えてくれました。この大会を通じて生み出されたレガシーを、貴重な財産として引き継ぎ、危機的状況を乗り越えた先にある、府中市の更なる発展につなげてまいります。

そして、令和4年度は、今後の本市の新たな未来を描く第7次府中市総合計画がスタートする年であります。変化の激しい時代に柔軟に対応し、「地域でつながる」、「未来へ育む」、「活力を創る」の3つのテーマに基づき、新たな都市像である「きずなを^{つむ}紡ぎ 未来を^{ひら}拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中」の実現に向けて、全力で市政運営に取り組んでまいります。

市議会議員の皆様並びに市民の皆様のご指導とご協力を賜りますよう、心からお願いを申しあげまして、令和4年度の市政の運営方針といたします。